

NPOワンポイントアドバイス!!

~失敗しない、ファシリテーターのコツ~

最近、様々な場面でワークショップを取り入れる機会が増えてきています。
それに伴い、突然、進行役であるファシリテーターを任せられることも出てくるかもしれません。
そこで今回は、ファシリテーターとして失敗しないコツをお伝えします。

1. しゃべりすぎない

- ・ファシリテーターは、丁寧に聞くのが役割です。自分がしゃべりすぎたり、他の人の発言にいちいちコメントしたりするのは控えましょう。

2. 待つ

- ・参加者に意見を問いかけても「シーン…」をしてしまう時が多くありますよね。でも、その時間は、皆さん意見を考えたり、まとめたりしている貴重な時間です。意見が出ないからといって、すぐに自分からしゃべりだしたり、他の話題に移ってしまってはいけません。

3. 「時間がないので」とは言わない

- ・このワードを言えば言うほど、ファシリテーターと参加者の距離は遠くなってしまいます。限られた時間の中でも余裕をもって進行するほうが、うまくいきます。

4. 参加者のせいにしない

- ・うまく進行できないことを「あの人気が協力的でなかったから」とか「ワークショップになれている人が少なかったから」などと言って、参加者のせいにしてはいけません。自分自身のちょっとした物言いや、態度等から、参加者が遠のいてしまうのです。真摯に振り返り、次に活かしていきましょう。

5. 難しい言葉を使わない

- ・人間は三つ以上自分に分からぬ単語が出てくると、考えるのをやめてしまうそうです。聞きなれないカタカナ語や専門用語を使えば使うほど、参加者の参加意欲は消されてしまい、自慢しているという印象しか残りません。

6. 自分の持っていきたい結論に誘導しない

- ・ファシリテーターが結論を誘導するのは、倫理的にも疑問です。しかし、ちょっとした言葉や態度から誘導してしまうこともあります。常に胸に手を当てて進行するように心がけましょう。

参考:『NPOマネジメント 69号』IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]発行



センター長のつぶやき

まちづくりセンター センター長 丸藤 競

明けましておめでとうございます。

平成27年は、個人的に、色々変化の多い一年でした。生活支援コーディネーターという新しい活動が始まった関係で全道・全国に行ったり、札幌でのとある定例会に毎月参加することになったりで、移動距離はどんどん増えてきました。地元に居ることが少なくなってしまい、ずいぶん迷惑もおかけしていると思います。

一番良かったことは、全国の「凄い方」とお会いする機会に

恵まれたことです。

各地域や専門分野で活躍されているかたと話していると、学ぶことがたくさんあります。中でも最も印象深かったのは、どの「凄い方」も皆さんとても謙虚で、学ぶことに素直で、とてもほめ上手だということです。威圧的なところなど全くなく、とても気さくな普通の「人柄がよい方」という感じです。自分の考えはきちんと持っていますが、同時に相手を認めます。悪口なんて聞いたことがありません。

人として素晴らしいからこそ、「凄い人」には人が集まり幸せを集めることができてきたのですね。

私自身はまだですが、少しでも成長できるような年にしたいと思います。

今年も、よろしくお願ひいたします。